

【参考 3】

高度部材イノベーションセンター(AMIC)について

【参考3】高度部材イノベーションセンター(AMIC)について



高度部材イノベーションセンター（AMIC）は、コンビナート企業を中心とする素材・部材産業と自動車、電機・電子を中心とする後背地の加工組立産業が時間距離にして1時間以内の範囲に集積する日本有数のポテンシャルを生かし、川上産業と川下産業、大企業と中小企業、企業と大学・研究機関など、多様な連携による研究開発を促進するとともに、中小企業の課題解決支援や人材育成を行うことで、県北勢地域の産業を研究開発や技術開発を中心とする**競争力のある高付加価値型産業に転換していくための拠点施設**として平成20年に設立。

国際競争力を確保し続ける「高度部材イノベーション・クラスター」の形成をめざす

→ クラスター形成に向けた第一段階 → イノベーション基盤の構築としての「**人・技術の出会いの場**」

- | | |
|------------|---|
| 最先端部材の研究開発 | ◆ 中小企業と大企業の連携を誘発するための旗艦プロジェクトを組成 |
| 技術人材育成 | ◆ 貸研究室に入居する企業を中心に研究者等が集う場「サロン」や技術人材育成講座を開催 |
| 中小企業の課題解決 | ◆ 中小企業の技術開発データ等の蓄積
◆ 中小企業の新製品開発や技術開発等への相談、課題対応 |

高度部材産業を取り巻く社会経済情勢変化
 エレクトロニクス産業分野におけるアジア各国の追い上げによる我が国の世界シェア、競争力が低下する一方、次世代自動車の普及や航空宇宙産業の成長、第4次産業革命（IoT、センサー、ビッグデータ、AI等）による技術革新により、**高度部材は需要増が期待され、新たな産業として大きな可能性を秘めている**

AMIC側の課題も顕在化
 プロジェクトメイキングを行うコーディネート機能の低下やサロンの形骸化による参加者の固定化、減少によりイノベーションを誘発する新たな旗艦プロジェクト組成の減少
「人・技術の出会いの場」としてのAMICの訴求力の低下

- ◆ 「人・技術の出会いの場」としての交流機能を維持・強化しつつ、イノベーションの種を見出すため、北勢地域を中心とする県内の高度部材関連企業をきめ細かく支援する体制を構築
- ◆ 「技術を見出す」段階から「技術を売る」段階までの**ステップアップ支援**を行うとともに、産学官連携の研究開発の触媒・中核機関の役割を果たすため、**プラットフォーム機能の強化、出会いの場の提供**に取り組む

